



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 6 年 11 月 実績

November 2024



令和 7 年 1 月

January 2025

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2024（令和6）年11月の機械受注動向	
(1) 需要者別受注動向（季節調整値）	1
(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2024（令和6）年11月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、10月21.1%増の後、11月は14.4%減となった。

需要者別にみると、民需は、10月25.4%増の後、11月は12.4%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10月2.1%増の後、11月は3.4%増となった。内訳をみると製造業が6.0%増、非製造業（船舶・電力を除く）が1.2%増であった。

一方、官公需は、10月49.9%増の後、11月は「その他官公需」、地方公務等で増加したものの、防衛省、運輸業で減少したことから、29.5%減となった。

また、外需は、10月7.9%増の後、11月は原動機、航空機等で増加したものの、電子・通信機械、船舶等で減少したことから、5.3%減となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、10月4.2%減の後、11月は重電機、道路車両等で減少したものの、産業機械、電子・通信機械等で増加したことから、6.7%増となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、10月12.5%増の後、11月は6.0%増となった。

11月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、化学工業（71.4%増）、情報通信機械（47.4%増）等の7業種で、パルプ・紙・紙加工品（62.7%減）、石油製品・石炭製品（44.3%減）等の10業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、10月33.3%増の後、11月は21.8%減となった。

11月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業（42.6%増）、情報サービス業（34.8%増）等の6業種で、電力業（56.9%減）、リース業（26.7%減）等の6業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

11月の販売額は2兆6,793億円（前月比8.2%減）で、前3か月平均販売額は2兆7,556億円（同1.5%減）となり、受注残高は40兆7,397億円（同0.9%増）となった。この結果、手持月数は14.8か月となり、前月差で0.4か月増加した。

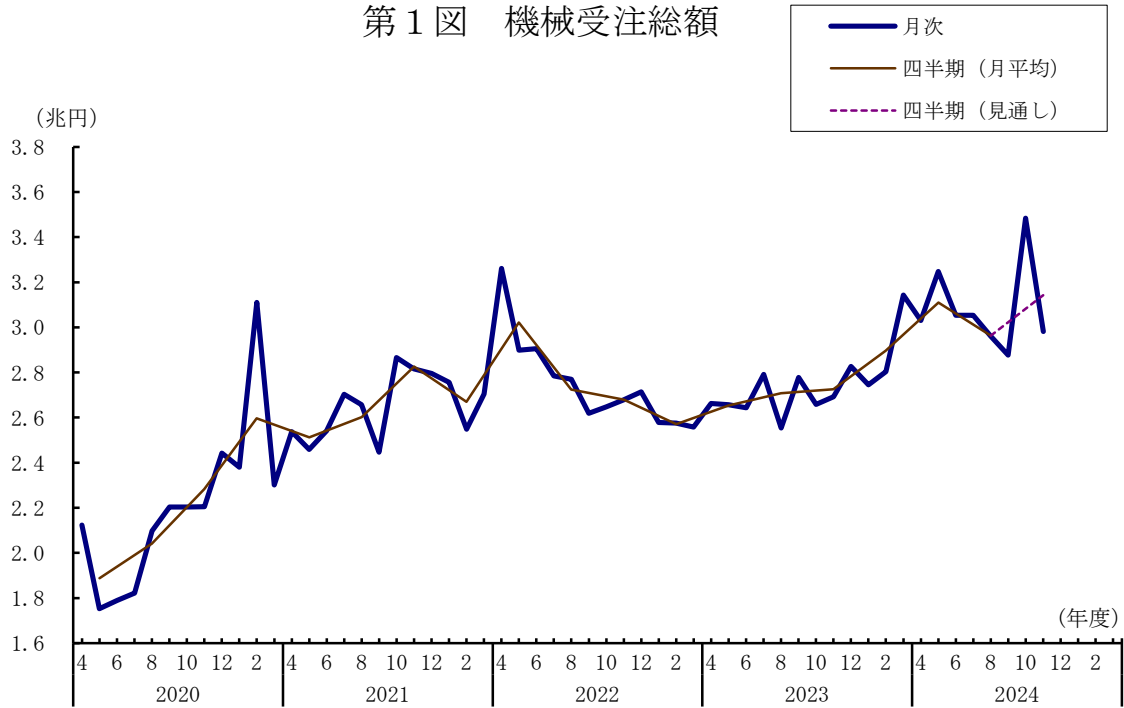
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

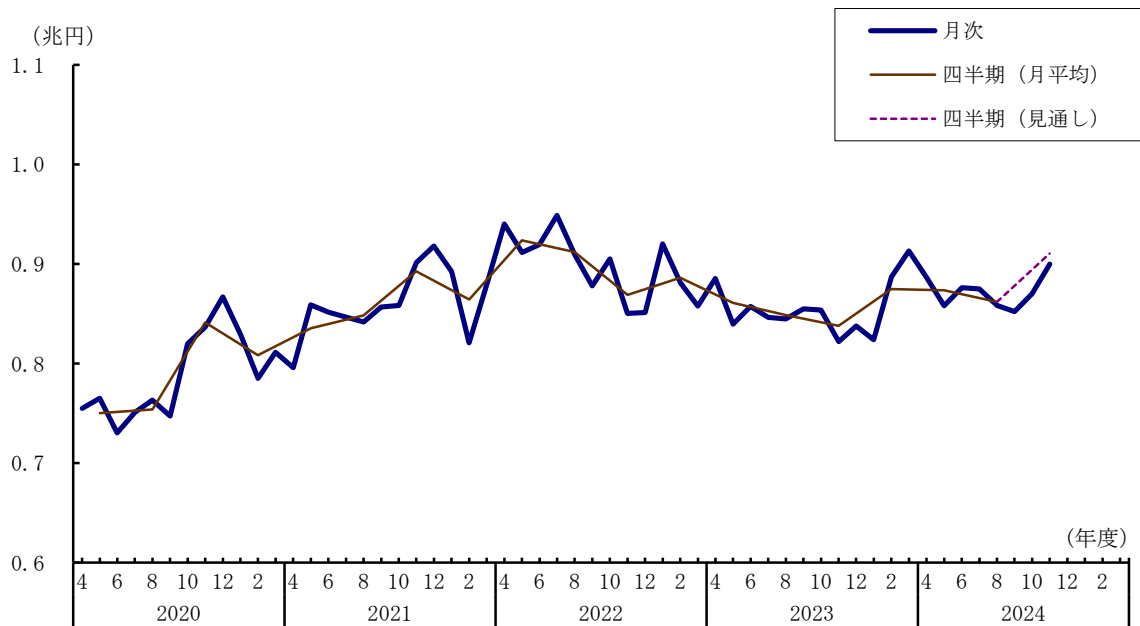
期・月 需要者	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)			2024年 (令和6年)			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	8月	9月	10月	11月
受注総額	81,771 ( 0.7) [ 2.1]	86,913 ( 6.3) [ 14.3]	93,305 ( 7.4) [ 17.4]	88,912 ( -4.7) [ 8.9]	29,614 ( -3.0) [ 15.5]	28,764 ( -2.9) [ 3.5]	34,832 ( 21.1) [ 30.5]	29,817 ( -14.4) [ 10.7]
民需	30,454 ( -6.2) [ 6.7]	30,069 ( -1.3) [ -0.9]	35,013 ( 16.4) [ 15.1]	29,481 ( -15.8) [ -8.6]	9,648 ( -4.2) [ -2.6]	9,759 ( 1.1) [ -4.5]	12,237 ( 25.4) [ 19.0]	10,716 ( -12.4) [ 10.4]
〃 (船舶・電力を除く)	25,133 ( -1.3) [ -2.5]	26,236 ( 4.4) [ -2.0]	26,202 ( -0.1) [ 2.7]	25,850 ( -1.3) [ -0.4]	8,581 ( -1.9) [ -3.4]	8,520 ( -0.7) [ -4.8]	8,698 ( 2.1) [ 5.6]	8,996 ( 3.4) [ 10.3]
製造業	12,208 ( -0.0) [ -0.7]	12,317 ( 0.9) [ -1.6]	12,656 ( 2.8) [ 2.2]	11,751 ( -7.2) [ -3.7]	3,884 ( -2.5) [ -9.0]	3,883 ( -0.0) [ -4.1]	4,368 ( 12.5) [ 7.6]	4,629 ( 6.0) [ 15.3]
非製造業 (船舶・電力を除く)	13,276 ( 1.1) [ -4.1]	14,184 ( 6.8) [ -2.1]	13,653 ( -3.7) [ 3.1]	13,849 ( 1.4) [ 2.7]	4,469 ( -7.7) [ 2.7]	4,537 ( 1.5) [ -5.4]	4,484 ( -1.2) [ 3.7]	4,537 ( 1.2) [ 6.5]
官公需	10,235 ( -0.1) [ 35.2]	15,875 ( 55.1) [ 81.0]	10,536 ( -33.6) [ 6.3]	13,773 ( 30.7) [ 35.1]	4,769 ( 33.1) [ 73.0]	5,419 ( 13.6) [ 33.7]	8,124 ( 49.9) [ 188.0]	5,730 ( -29.5) [ 57.3]
外需	37,661 ( 4.6) [ -6.4]	35,903 ( -4.7) [ 7.4]	43,693 ( 21.7) [ 24.1]	42,766 ( -2.1) [ 17.7]	13,894 ( -15.3) [ 20.7]	12,470 ( -10.3) [ -1.5]	13,457 ( 7.9) [ 8.9]	12,742 ( -5.3) [ 1.6]
代理店	3,641 ( 4.9) [ 3.0]	3,759 ( 3.2) [ 2.5]	3,485 ( -7.3) [ -1.4]	3,764 ( 8.0) [ 7.8]	1,197 ( -8.7) [ -6.0]	1,256 ( 4.9) [ 15.6]	1,203 ( -4.2) [ 0.9]	1,284 ( 6.7) [ 8.7]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2024年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2024年9月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

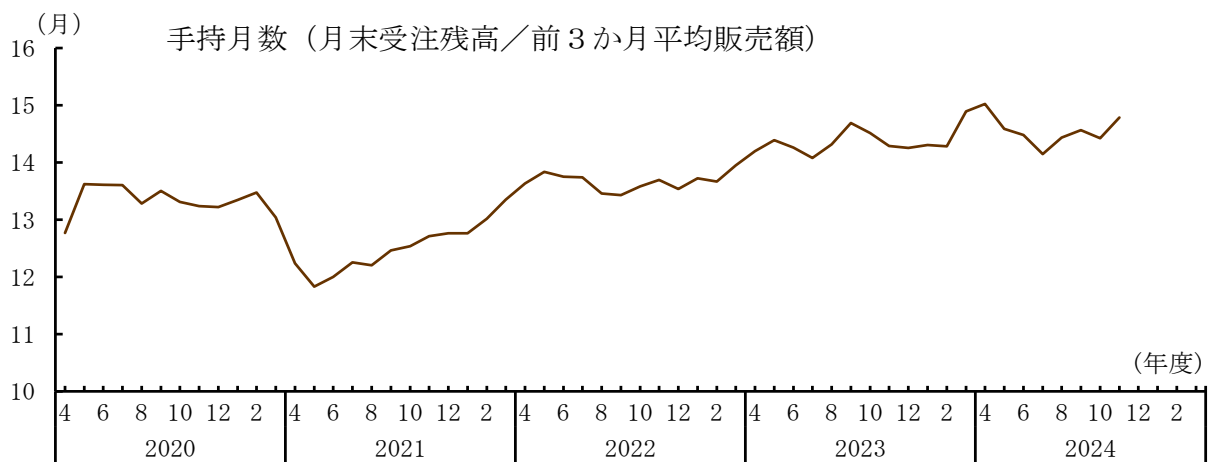
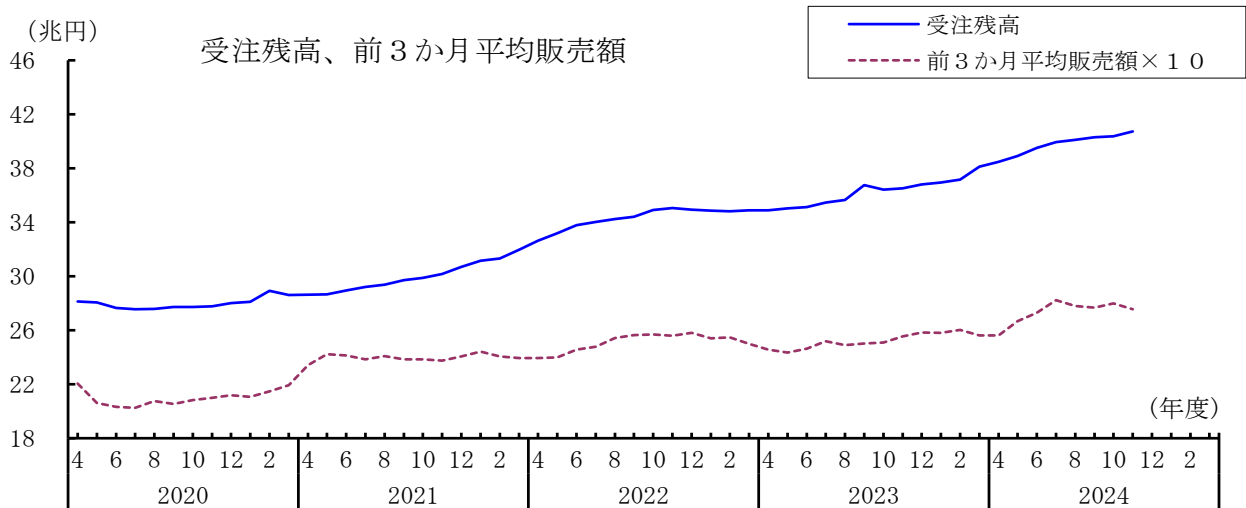
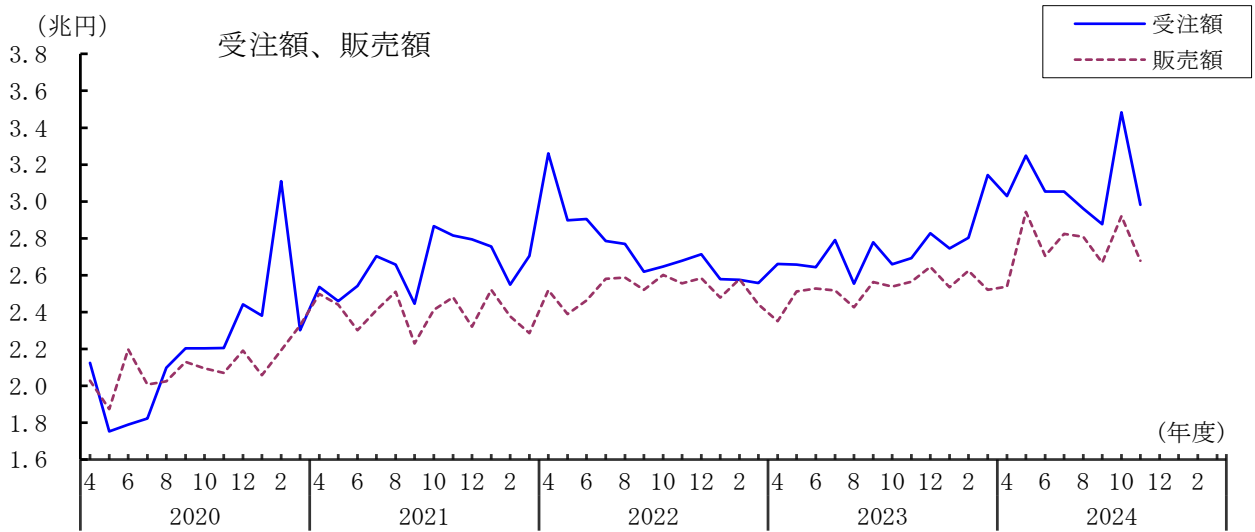
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月							
	2023年 (令和5年) 10～12月	2024年 (令和6年) 1～3月	4～6月	7～9月	2024年 (令和6年) 8月	9月	10月	11月
I 製造業計	-0.0	0.9	2.8	-7.2	-2.5	-0.0	12.5	6.0
1 食品製造業	6.5	3.6	32.0	-37.1	32.9	-15.5	24.3	9.6
2 繊維工業	5.7	-8.1	14.9	6.4	-3.6	46.5	-25.0	-24.3
3 パルプ・紙・紙加工品	-59.5	-6.1	46.4	-39.4	37.5	-32.8	560.0	-62.7
4 化学工業	-24.9	-31.0	27.2	3.9	23.3	-18.0	-18.7	71.4
5 石油製品・石炭製品	-10.9	26.6	-27.7	47.0	6.4	62.7	-5.1	-44.3
6 窯業・土石製品	-10.5	11.3	-12.5	37.4	-19.6	124.8	-35.5	-18.4
7 鉄鋼業	13.8	-14.0	5.5	-9.9	18.9	-14.7	75.7	-20.8
8 非鉄金属	-9.0	-13.9	56.5	-32.9	-23.4	-6.0	65.4	-9.0
9 金属製品	22.2	-8.5	12.7	-20.4	10.9	-3.8	15.1	-15.2
10 はん用・生産用機械	-4.5	2.7	-4.3	-6.9	5.1	8.7	-8.6	4.3
11 業務用機械	-2.2	4.7	-5.5	14.0	-12.7	-5.3	15.4	9.6
12 電気機械	-5.6	27.7	4.4	-9.6	-7.4	-15.4	25.5	-4.5
13 情報通信機械	-20.6	53.7	-7.1	-11.1	-28.4	11.7	-16.3	47.4
14 自動車・同付属品	0.3	-9.9	14.8	-5.7	-9.9	6.5	8.1	-9.4
15 造船業	16.8	13.5	1.2	-5.5	-22.6	57.7	10.4	34.5
16 「その他輸送用機械」	16.9	22.1	-7.1	-8.3	-38.0	10.9	49.9	-25.4
17 「その他製造業」	8.7	-20.3	18.9	8.7	20.0	-24.6	13.7	26.5
II 非製造業計	-8.7	-3.1	25.7	-21.1	-2.3	-0.9	33.3	-21.8
18 農林漁業	-8.1	6.0	0.1	3.6	-4.2	3.7	10.7	1.3
19 鉱業・採石業・砂利採取業	-5.8	83.4	-36.4	16.5	12.0	50.4	-42.6	42.6
20 建設業	-4.2	3.5	-6.2	13.9	11.1	-5.4	23.5	-22.1
21 電力業	-41.9	-13.0	142.8	-56.1	-7.5	8.9	116.2	-56.9
22 運輸業・郵便業	0.3	7.1	12.2	-8.3	-34.4	-1.2	37.6	-17.7
23 通信業	13.7	8.1	-18.0	9.7	43.9	5.9	-37.6	22.5
24 卸売業・小売業	2.7	-6.3	1.8	6.7	-23.6	-12.8	23.7	-6.1
25 金融業・保険業	0.5	-11.5	29.0	-8.9	-15.6	0.6	-20.6	21.7
26 不動産業	35.7	11.8	-13.8	21.7	17.4	5.2	-9.0	-5.3
27 情報サービス業	-15.6	11.0	13.5	0.4	-7.9	-25.7	14.4	34.8
28 リース業	-45.5	-17.3	-6.6	2.0	-12.4	17.8	23.7	-26.7
29 「その他非製造業」	4.4	16.5	-6.8	-6.8	0.2	-0.4	-4.6	1.6

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

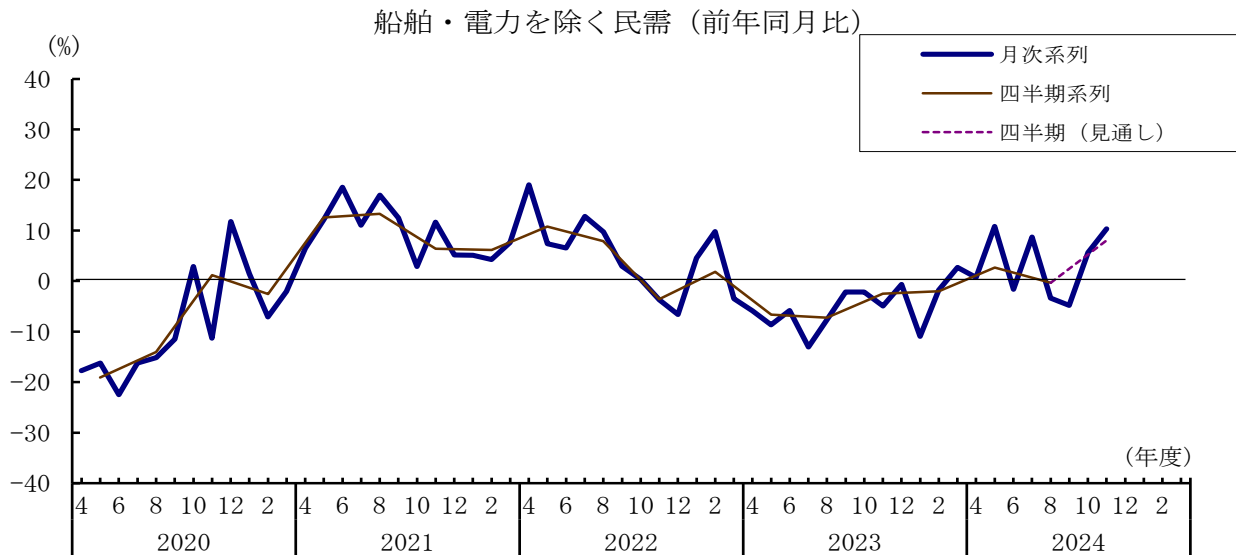
### 第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数 (総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

11月の受注総額は、2兆6,436億円で前年同月比10.7%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2024年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2024年9月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は9,133億円で前年同月比10.4%増（船舶・電力を除くと同10.3%増）、官公需は3,851億円で同57.3%増、外需は1兆2,107億円で同1.6%増、また、代理店は1,346億円で同8.7%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比15.3%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、造船業（95.1%増）、情報通信機械（91.7%増）等の11業種で、繊維工業（37.4%減）、金属製品（9.1%減）等の6業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比6.8%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、情報サービス業（68.0%増）、不動産業（60.2%増）等の7業種で、通信業（23.4%減）、リース業（7.3%減）等の5業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

11月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（140.4%増）、原動機（58.1%増）等で増加となった。反面、船舶（64.0%減）、道路車両（1.0%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比10.7%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（44.5%増）、



重電機（22.2%増）等で増加となった。反面、船舶（55.6%減）、航空機（46.5%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比10.4%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2023年 (令和5年) 10~12月	2024年 (令和6年) 1~3月	4~6月	7~9月	2024年 (令和6年) 8月	9月	10月	11月
民需総額	6.7	-0.9	15.1	-8.6	-2.6	-4.5	19.0	10.4
原動機	66.6	-10.8	84.1	-39.3	31.6	9.7	91.5	44.5
重電機	11.9	-0.4	33.7	-2.5	-11.9	-8.6	34.3	22.2
電子・通信機械	-4.6	-1.1	3.4	1.9	7.3	-9.0	-2.4	7.4
産業機械	0.5	0.2	-1.6	-7.0	-16.1	-2.1	5.8	4.8
工作機械	-23.5	-15.9	-5.2	-5.5	-6.1	-5.2	14.3	5.7
鉄道車両	-27.3	17.0	7.0	8.1	7.3	-11.5	54.8	18.3
道路車両	43.2	30.3	9.7	18.1	18.7	8.2	-1.7	15.3
航空機	80.4	143.3	74.7	-2.6	-27.6	-4.5	108.0	-46.5
船舶	287.7	-15.9	289.5	-64.2	-80.2	-4.7	50.4	-55.6

(備考) 原系列による対前年同期(月)増減率。

## (2) 販売額

11月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（24.9%増）、航空機（19.2%増）等で増加となった。反面、船舶（7.3%減）、道路車両（6.2%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比4.7%増となった。

## (3) 受注残高

11月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、航空機（81.7%増）、船舶（27.2%増）等で増加となった。反面、工作機械（6.1%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比11.6%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

11月の受注額は、246億円で前年同月比24.1%減、販売額は、265億円で同12.1%減、受注残高は、4,530億円で同1.4%減となった。

### (2) 軸受

11月の受注額は、629億円で前年同月比4.9%減、販売額は、571億円で同8.3%減、受注残高は、1,586億円で同22.5%増となった。

### (3) 電線・ケーブル

11月の受注額は、1,491億円で前年同月比20.0%増、販売額は、1,370億円で同7.2%増、受注残高は、4,470億円で同39.8%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表  
目 次

[ グラフ ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[ 計 数 表 ]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2024年11月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----